

令和3年度 第2回上野原市総合教育会議 会議要旨

1. 開催日時 令和4年2月17日（木）13:00～14:20
2. 開催場所 上野原市役所2階 庁議室
3. 出席者
 - 【構成員】 村上信行市長、土屋すみじ教育長、降矢俊彦教育長職務代理、富田佳子教育委員、山崎昇教育委員、田村たえま教育委員
 - 【事務局】 市長部局：政策秘書課 守屋課長、水越政策担当L
教育委員会部局：
学校教育課：安藤課長、関戸教育総務担当L、
佐渡学校教育担当L
社会教育課：織田課長、川田社会教育担当L
 - 【欠席者】 なし
4. 会議内容
 - (1) 開会
 - (2) 市長あいさつ
 - (3) 教育長あいさつ
 - (4) 議事
 - ① 上野原市教育大綱の改定について
 - ② 第2期上野原市教育振興基本計画の策定について
 - (5) その他
 - (6) 閉会

.....
【会議内容要旨】

議 事

- (1) 上野原市教育大綱の改定について【関戸教育総務担当L】

[説明概要]

上野原市教育大綱の改定について、資料に基づき説明。上野原市における教育、学術及び文化の振興に関する総合的な推進を図ることを目的に、平成28年に策定した教育大綱の計画期間が令和4年3月をもって満了することに伴い、本大

綱を改定する。これまでの進捗状況やアンケート調査結果、市長の思いも含めて改定している。基本理念は継続し、教育施策の3つの柱については一部語句を修正のうえ、内容に一人一台パソコンや学校運営協議会、こども園小中学校連携、教職員の働き方改革の記載が追加となっている。

[主な意見等]

- ・私もかつては教員を目指していた時期や、実際に社会科の非常勤教員を勤めた経験、PTAでも色々活動した経験がある。そうした経験等も踏まえ、私の思いが入ったものとなっている。教育委員会の分野には学校教育と社会教育があるが、特に社会教育は教育委員会から離れることで発展している部分もある。学校教育も私立学校や塾、フリースクール等ができて、異なる分野が担うことも大きくなっている。こうした中で教育をどうしていくのかが大事である。
- ・今日的な課題として、教職員の働き方改革が記載され、市でも取り組んでいることはありがたい。教職員が本来取り組むべき子どもとの時間が、会議や部活動、本来家庭ですべきことにとられてしまっている。
- ・教育大綱は市の教育の基本理念であり、現状分析した中で市長の思いも入っている。私的には「生きる力を育む」が一番大事ではないかと思っている。
→人生で困難があっても立ち向かえる力は大事である。教育はその原点でもあると考えている。

(2) 第2期上野原市教育振興基本計画の策定について【関戸教育総務担当】

[説明概要]

第2期上野原市教育振興基本計画の策定について、資料に基づき説明。教育振興基本計画の計画期間が令和4年3月をもって満了することに伴い、第2期計画を策定する。第1期計画からの変更・追加項目は、学校における働き方改革の推進、大規模災害と感染症拡大からの教訓、持続可能な社会の実現などであり、計画の体系、基本施策の展開については、資料のとおりとなる。

[主な意見等]

- ・計画策定で大事なものは、内容もちろんであるが、いかに実効性を担保するかである。計画の推進に向けて、PDCAサイクルの着実な実施をお願いしたい。
→すべて実行が大事である。計画していることと実行が乖離しているケースもたくさんある。教育委員会でもそうならないようお願いする。
- ・食育の推進の中にSDGsの取組も記載されている。先日、上野原の取組が新聞の全国記事になっていた。大事な取組であると思うので、継続していただければと思う。

・コミュニティスクールについて、実施率が全国で3割台、県内では2割台であったと記憶している。市では来年度には100%実施になるとのことで、素晴らしいことであると思う。地域と学校の関係は大事である。学校教育課だけでなく、社会教育課も連携する中で100%になるコミュニティスクールを育てていただければと思う。

→社会教育にも各種団体があるので、地域と含めて連携していきたい。

・以前は、夏休みや冬休み前に地域に子どもを返すための育成会会長や民生委員などが集まる6者会議があったと記憶しているが、今は無いのか。

→今はない。子どもも減少し、育成会組織も縮小していることがその背景にある。それに代わるものがコミュニティスクールであると考えている。

・ICTを活用した教育の充実ということで、8つの事業が掲載されているが、うまく連携しながら進めてもらえればと思う。

・文化財の継承についても記載があるが、具体的にどう取り組んでいくのか。

→アンケート調査からは、市民の中で文化財知識の共有がされていない。このため、まずは文化財に関心をもってもらうための常設ミニ展示を検討している。その後には、常設展示場の整備を図りたい。

・生涯学習の振興について、ボランティアバンクや図書館も含め、生涯学習の場づくりやどう情報発信をしていくのかが課題である。多彩なスキルを持った移住者も増えているので、発表の場づくりをお願いしたい。また、アンケート調査から、図書館が遠くて通えないという意見もある。そういう方へのサービスも考えてもらえればと思う。

→不要な本を置いて、必要な人が自由に持っていける企画をしているところもある。SDGsの取組にも繋がるので、市でも取り組んだら良いと思う。

・学校教育に使命感をもった教職員をどう守るかが大事である。現在は先生のなり手がいない。

→先生とよくコミュニケーションをとり、市としてできることをお願いする。

・目標とする指標について、目標達成も大事であるが、取組の経過も大事にしていきたい。

・外部人材の活用の促進とあるが、具体的にはどういう事か。

→上野原中と秋山中の部活動に地域の方の協力をいただいている。また、生き生き教育人材活用事業では、合唱の指導や琴の演奏、自然観察の講師等をお願いしている。今後も地域の方に関与してもらい、連携を深めていきたい。

・地域人材は、観光人口や交流人口を増やすための大きな社会資源であると思う。商工担当とも連携しながら、例えば与謝野晶子・鉄幹夫妻の和歌を活かした取組ができると思う。攻めの教育委員会をお願いする。

・今後の予定はどうか。

→22日の議員全員協議会で説明後、パブリックコメントを実施し、必要な修正を行った後、教育委員会定例会で決定したい。

その他

- ・特になし